

10章 仮定法

仮定法：事実と異なること(到底実現できないと思われること)を述べるときに使う。

1, 仮定法過去 → 現在の事実とは異なることを述べる。

形：If S V-ed, S would/could/might/should V. (ただし be 動詞は常に were)

訳：(今)もし S が V したら、S は V するだろう・できるだろう・かもしれない・すべきだ。

例題 次の文を仮定法過去に書き換えなさい。

I don't have much money, so I can't buy the car.

↓

2, 仮定法過去完了 → 過去の事実とは異なることを述べる。

形：If S had 過去分詞, S would/could/might/should have 過去分詞.

訳：(昔)もし S が V していたら、S は V しただろう・できただろう・できたかもしれない・すべきだった。

例題 次の文を仮定法過去完了に書き換えなさい。

I don't have much money, so I can't buy the car.

↓

3, If 節中の were to do → 単なる仮定を意味する。

例：If the teacher were to know that, he would get angry.

訳：もし先生がそのことを知ったら、彼は怒るだろう。

4, If 節中の should → 「万が一」と訳す。

例：If a big earthquake should come, what would you do?

5, もし～がなければ

今もし～がなければ(仮定法過去)

Without ~

But for ~

If it were not for ~

昔もし～がなかったら(仮定法過去完了)

Without ~

But for ~

If it had not been for ~

6, ①I wish + S V-ed. (仮定法過去) → (今)～であればいいのに

例：I wish he were here now.

②I wish + S had 過去分詞. (仮定法過去完了) → (昔)～であったらよかったのに

例：I wish he had been here.